

群 教 セ	E03- 03
	平 14.206 集

疑問を持ち、意欲を持って 活動に取り組める児童の育成

— 振り返り活動を取り入れた 総合的な学習の時間「水と友だち」を通して —

特別研修員 高瀬 智

《研究の概要》

本研究は、自分の課題を調べていく活動の中で、振り返り活動（自己評価、相互評価）を行いながら、意欲を持って活動に取り組める児童の育成を目指す実践的研究である。児童は地域のよさである水に疑問を持ち、そこから課題を設定し、振り返り活動を生かして、活動を見直したり修正したりして、意欲を高めながら課題を解決しまとめていく。また、活動を通して、水を生かしたこれから町創りへの思いをふくらませていくものである。
【キーワード：教育課程 総合的な学習 - 小 振り返り 交流活動 意欲】

主題設定の理由

3年生の児童（男子46名、女子34名、計80名）は、生活科で「町たんけん」を経験している。その時の様子を簡単な絵地図に表したり、作文にまとめたりしてきて、町探検のことは覚えている。しかし、町探検が、自分達の生活に関わりのあることの学習であるという意識が少なかったためか、人々の様子や自分たちとの関わりを覚えている児童は少ない。しかし、3年生になり、与えられた課題に対しての取組が、「やればいい。わからなくなると諦めていた。」から、「一生懸命やり、自分でやるのが大切だ。」「自分のためになる。」ということがわかり「自分のために頑張ろう。」という意欲も少しずつ出てきて、追究への取組も徐々にではあるがスムーズになっている。

そこで、学習に対して、がんばろうという意欲が出てきた状態を保ち、さらに意欲を高められるであろう「たんけん、発見、ぼくらの町！ - 水と友だち - 」という単元を構想した。児童は、地域のよさの一つである「水」に疑問を持ち、課題を設定し、活動に取り組んでいく。設定した課題を解決していくためには、解決しようという意欲がなければ活動は進んでいかない。そこで、この課題を解決するための活動過程に、自分自身や友達との振り返り活動を取り入れていくことにした。この振り返り活動により、課題を確認したり、新たな解決方法を知り、解決への見通しを持ったりできることによって、意欲を高めながら課題追究に取り組めるであろうと考えた。また、水を通して自分たちの住む地域の将来について考えることは、総合的な学習の時間のねらいにもある「自己の生き方を考えることができるようにする」にもつながるものであると考え、本主題を設定した。

研究のねらい

「たんけん、発見、ぼくらの町！ - 水と友だち - 」において、「千代田町のよいところ・自慢」のウェビングや施設の見学等を行い 水に疑問を持ち、活動を振り返りながら課題を設定する 課題解決のための活動を振り返る活動（自己評価、相互評価 - 交流活動）を取り入れて見通しを持つ 活動を振り返りながら発表会の準備をし、発表会を行うことにより、意欲を持っ

て活動に取り組む児童が育つであろうことを、実践を通して明らかにしていく。

研究の見通し

総合的な学習の時間「たんけん、発見、ぼくらの町！ - 水と友だち - 」の学習において、見通し1～3の取組を行えば、地域のよさに疑問を持ち、課題を設定し、意欲的に取り組める力が育つことを、実践によって明らかにする。

- 1 「つかむ」過程において、地域にふれながら活動を進めていき、地域のよさの一つが水であることを知り、その水から課題を設定する。その課題を設定していく活動過程に振り返り活動（自己評価、相互評価 - 交流活動）を取り入れれば、課題を調べていく活動の見通しが持て、活動に取り組んでいく意欲が増していくだろう。
- 2 「追究する」過程において、自ら設定した課題の解決のために活動を進めていく中で、振り返り活動（自己評価、相互評価 - 交流活動）を行えば、他のグループのよい点や友達からの賞賛・アドバイスを生かして活動の見通しを持つことにより、さらに意欲を高めて課題についての追究活動に取り組むことができるであろう。
- 3 「まとめる・広げる」過程において、追究してきた結果と「水」を生かしたこれからの町創りへの思いをまとめ、「水と友だち発表会」で交流する準備を通して、活動全体の振り返りができるとともに、「水」についてわかったこと、考えたこと、願いや思いを意欲を持ってまとめることができるであろう。また、事後にも振り返り活動を取り入れることにより、見通しを持ちながら、意欲的に活動に取り組むことの大切さに気づくことができるであろう。

研究の内容

1 基本的な考え方

(1) 「疑問を持ち、意欲を持って活動に取り組める」とは

本研究での「疑問を持ち」とは、地域のよさの一つである「水」について「なぜ。どうして。これからどうしたらいいか。」等を思うことである。児童は、地域探検や施設の見学等から地域のよさの一つが「水」であることを知り、その水についての話し合いの中から、自分自身で「水」について知りたい、調べたいことを持つことである。この疑問から、自分の課題設定へとつながっていく。

「意欲を持って活動に取り組める」とは、課題解決のために自ら活動を進めたり、水について得た情報や考えをまとめ、わかりやすく発表することができる姿と考える。3年生なりに自分たちで考えた方法で課題を追究をしていく中で、「もう、このくらいやればいだろう。」「この後は、どうしたらいいかな。」というように、ある程度のところで満足してしまったり、行き詰まったりしてしまうことがある。そのような時に、友達からのアドバイスや励ましがもらえる振り返り活動を取り入れる。この振り返りにより、自分の活動についての見直し・修正を行い、「今までの調べ方でいいのか。」「さらに調べられることはないか。」「それをどんな方法で調べていくのか。」等を考え、新たな解決方法を見つけたり知ったりすることができる。このことが活動への見通しとなり、意欲を高めていくことにつながると考える。また、まとめの中に、水を生かしたこれからの町創りへの願いや思いも取り入れられることと、自分たちで決めたまとめ方・発表の仕方で、友達と交流できることも意欲の表れと考える。

(2) 「振り返り活動」とは

振り返り活動とは、自分の活動を自分で振り返り（自己評価）と教師と児童、友達や外部のかかわった人、保護者との交流活動（相互評価）のことである。この振り返り活動を取り入れることで、自分の取組の確認や修正ができ、次時の活動に向けての見通しが持てて、意欲を高めて、自ら活動に取り組むことができるようになる。

「自分自身の振り返り活動（自己評価）」とははじめに、その日の活動の確認（何をどんな方法で調べるか）をして活動を進めていく。児童は、活動の終わりに資料 1（3 の ）を用いて、自分の取組で何がわかったか、どこまで進められたかを確認しながらその日の活動を振り返る。このカードを用いることで、児童は、自分の取組を反省し、次時への活動の進め方の確認と解決に向けての意欲づけを図れると考えた。この活動の積み重ねにより、活動のまとめまで意欲的に取り組めると考える。友達と交流をもった後は、資料 1（3 - ）から教師が児童の意欲を見取り、以後の支援に生かしていく。

「友達や外部の人、保護者との交流（相互評価）」とは

自分と友達の活動状況を確認するために、資料 2 の交流カードを用いて、互いの意見を参考に見通しを持ち、意欲を高めながら課題を追究していけるように自分の活動を振り返る活動のことである。友達との交流は、日頃の教科の学習における交流活動の積み重ねから抵抗なく取り組めるため、本活動における交流に生かそうと考えた。

資料 2 のカードを用いた交流活動は、資料 3 の場面でを行い、自分と友達の活動状況を確認することができる。また、交流活動（中間発表会）を行うことにより、他のグループの調べ方のよさに気づき、それを自分たちの学習に生かすことができる。振り返りは、友達の発表に対して、自分の考えや感想を記述しカードの交換を行う。この友達からの感想や意見が、賞賛や励まし・アドバイスとなり、活動の進め方の見直し・修正・再確認につなげていくことができる。また、このカードに自分の考えや感想を記述することは、自分への意欲づけになると考える。交流前には、互いに意欲が高められるような交流を持つよう指導する。

資料 3 交流を行う場面

つかむ過程・・・友達の問題を知る場面（友達と）
追究する過程・・・中間発表会時、追究する過程の最終段階（友達と）
まとめる・広げる過程・・・水と友だち発表会の後（友達、保護者や地域の方との交流）

(3) 「水と友だち」とは

児童にとって、「水」は、自分たちの生活に欠かせることのできないもので、水遊びやプ

資料 1 振り返りカード
(自己評価用)一部抜粋

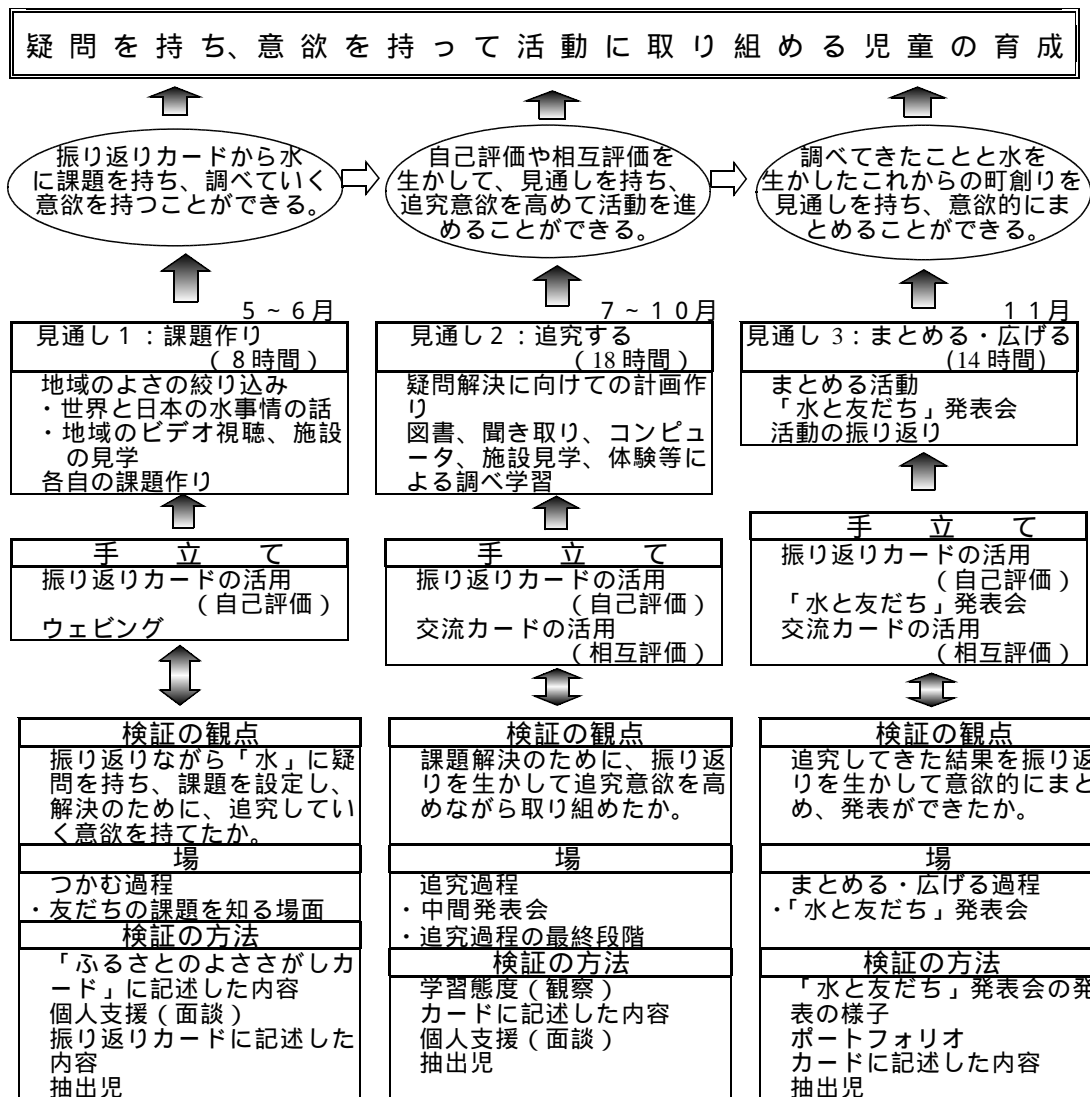
たんけん、発見、ほくらの町！ -「水と友だち」- 【振り返りカード】
【千代田町の水のく > についてしらべたい】
2. 今日調べ方は？
3. 今日学習の振り返り
今日の学習でわかったことは？
今日の学習で、がんばったことは？
今日の学習は？
進んで学習できた () () ()
協力しあてできた () () ()
さい後までがんばれた () () ()
くわしく書いてみよう
ほかのグループの発表を聞いて、自分のためになつたことを書こう！
次の学習でがんばりたいことは？
先生から

資料 2 交流カード
(相互評価用)

< >グループ 名前
発表の仕方 () () ()
まとめ方 () () ()
<u>友だちについて、がんばっていたなここがよかったなと思ったことを書いてみよう。</u>
.....
<u>ほくも私も・・・してみたいな！</u> <u>(このことは、さんこうにさせてもらおうよ)</u>

ール等で楽しみも与えてくれる身近なものである。水とは、これからもかわりを持ち、仲良くしていくものであることから「友だち」とした。この友達である地域の「水」に焦点を絞って活動していくことは、児童にとって、地域との連携が深まり、地域のよさを知り、地域に好感を持ち、未来を夢見て考えることができるという利点がある。このようなことから「水」は、意欲を高めながら追究活動を進める上で有効であると考え。さらに、本校児童への願いにもつながり、地域のよさを生かしたこれから町創りへの思いを考えていく上でも有効であると考え。

(4)全体構想図と検証計画



2 実践の概要及び結果と考察

考察にあたっては、抽出見M子の学習の様子、振り返り活動(振り返りカード-自己評価・交流カード-相互評価)前後の取組の違い・ポートフォリオ・水と友だち発表会等を中心に行う。M子は、グループ学習と個人学習どちらも、指示されたことには取り組むことができるが、自分に自信が持てず受け身がちなことが多く、主体的、意欲的な取組はあまり見られない。この「水と友だち」活動に対しては、「総合的な学習の時間は、初めてなので楽しみ。でも、どうやったらいいか少し不安。」という反応を示している。

(1) 課題を持ち、振り返りながら、調べていく意欲を持てたか。(見通し1)

ア 実践の概要

地域のよさに課題を持つために、ウェビングを個人・学年で行い、地域紹介のビデオ視聴やビール工場の見学を行った。また、他地域（国内、国外）の水事情についても知った。その過程で、児童は、振り返り（自己評価）を行いながら、地域の水に疑問をもち、課題を設定した。

「友だちの課題を知る発表会」で自分や友達の課題を発表し合い、友達の課題も知り、課題ごとにグループを編成し活動の進め方（見通し）を確認し合った。

イ 結果と考察

まず、ウェビング「千代田町ってどういう町」を行ってみると、緑が多い・田畑が多い等土地利用に関わることが多く出された。「利根川が流れている」「噴水のある公園がある」「水がおいしい」等「水」についてふれていた児童は、一割にも満たなかった。そこで、ビール工場の見学を実施した。千代田町にはおいしい地下水があるからビール工場ができたことを知り、「水」が千代田町のよさの一つであることに気づいた児童が過半数に増えた。

「水」に対する疑問を明らかにするために、世界の水事情（水の値段、水の確保の仕方等）について話したところ、「自分たちは水に恵まれている。」「お風呂に入るのも大変だね。」「おいしい水を飲んで幸せだ。」「水を大切にしなければいけないね。」等の感想が出た。さらに、千代田町の水の使い方や学校の水の使い方について投げかけ話し合った結果、資料4のようなことを調べていくことになった。

次に、振り返りカードの使い方を確認し、課題ごとのグループで調べ方を話し合った。しかし、どのように、何について調べていったらいいのかわからず困ってしまうグループが多かった。そこで、「友だちの課題を知る発表会」を行い、自分達の課題を発表させるとともに、可能なグループには、その後の調査の方法等についても発表させた。ほぼ全員の児童が、振り返りカードに、「図書資料を使って調べていく。」と記述し、「早く調べたい。」という記述から意欲の高まりを感じた。

抽出児M子は、「おいしい水」についてという課題を設定した。M子ははじめ、「きれいな水」に興味を示していたが、世界の水事情の話から、「千代田町は、おいしい水がたくさんあるから。」という理由で「おいしい水について」に課題を変更した。グループでの話し合いでは、どう調べていったらいいかの見通しを持つことができなかった（資料5）。しかし、「友だちの課題を知る発表会」で友達の発表を聞いて、図書資料のみであったが、「本を使って」という調べ方を知り、次時への見通しを持ち、活動を進めていく気持ちを持つことができた（資料6）。

(2) 振り返り活動を生かして、見通しを持ち、意欲を高めて追究できたか。（見通し2）

ア 実践の概要

活動の終わりに児童は、振り返り活動（自己評価）を行いながら、自分たちの学習の見通し

資料4 水について調べたいことを

- ・なぜ、おいしい
- ・どこから来るのか
- ・使われた水はどこに行くのか
- ・ほかの場所の水
- ・井戸水について
- ・使われ方（ビール、日本酒、豆腐）

資料5 M子の発表会前の振り返りカード(抜粋)

【千代田町の水のくせがおいしいについてしらべたい】

1. 今日の活動 自分のかだいについて、どうやって調べようかをグループで話し合う。

②今日の活動でたいへんだったこと、こまったこと
調べ方がなかなか思いつかないから

③今日の活動は？

進んで活動できた	<input type="radio"/> ()	<input type="radio"/> (○)	<input type="radio"/> (△)	<input type="radio"/> ()
協力しあっていた	<input type="radio"/> ()	<input type="radio"/> (○)	<input type="radio"/> (△)	<input type="radio"/> ()
さい後までがんばれた	<input type="radio"/> (○)	<input type="radio"/> ()	<input type="radio"/> (△)	<input type="radio"/> ()

資料6 M子の発表会後の振り返りカード(抜粋)

今日の活動 図書室で本の本をかりる。

活動の仕方(調べ方) 図書室の本

その理由 千代田町はおいしい水がたくさんあるから、早く調べたい。

③今日の活動は？

進んで活動できた	<input type="radio"/> (○)	<input type="radio"/> ()	<input type="radio"/> (△)	<input type="radio"/> ()
協力しあっていた	<input type="radio"/> (○)	<input type="radio"/> ()	<input type="radio"/> (△)	<input type="radio"/> ()
さい後までがんばれた	<input type="radio"/> (○)	<input type="radio"/> ()	<input type="radio"/> (△)	<input type="radio"/> ()

を持ち、取り組んでいった。また、交流活動（中間発表会、追究過程の最終段階：相互評価）を取り入れ、友達からの賞賛やアドバイスも生かして、新たな追究方法や活動内容を含めた見直しを持ち、活動を進めていった。

イ 結果と考察

調査した内容をまとめ始めたところ、ほとんどの児童が、課題に挙げた事柄の資料のコピーを書き写すという取組であった。振り返りカード（自己評価）を見てみると、「今日の学習でわかったことは、あまりない。」ということで、行き詰まりと意欲の減少を示す児童が半数以上いた。そこで、児童に「がんばっている友達のことが参考になるかもしれないよ。」と友達との交流活動（中間発表会において相互評価）を行った。9グループは、図書資料に載っていたことだけの発表であったが、2グループは、家庭でインターネットを使ったり、家の人に聞いてきたことを発表していた。その結果、児童は、図書資料以外にインターネットや地域の人に聞くといった調べ方を知ることができた。

「中間発表会」後のカードには「もっと、いろいろなことを調べたい。知りたい。おもしろくなってきた。」と、72名の児童が意欲の高まりを感じる記述をし（資料7）、他グループの発表を生かした取組が見られるようになってきた。これは、友達との振り返り活動が、児童の活動意欲を高める上で有効であったことがわかる。豆腐グループは、「おいしい豆腐を作るためには、おいしい水が必要である。」ことを、井戸水グループは、「井戸水のよい点」を地域のお年寄りから聞いてきた。また、アメリカ在住経験者や台湾人留学生の話等からも飲み水の確保の大変さについての情報を得ることができた。

M子の取組は、図書資料のおいしい水の定義に線を引くだけであったが、友達が、課題に関係ある事柄も調べているのを見て、定義以外も調べられるようになり、学習カードにまとめるようになってきた。また、「わき水」についてインターネットからも情報を得ることにしたM子は、やり方を友達や教師に聞いて情報量を増していった。M子にとっても、友達と振り返る活動のアドバイスが新たな調査方法を知る上で有効であったことがわかる。

「追究する最終段階」にも友達と交流活動（相互評価）をもった。どのグループも「水と友だち発表会」を意識した焦点を絞った発表ができるようになってきた。

グループによっては、それまでの調べ方に加えて、4年生が浄水場を見学していることを知り、資料を借りたり聞いたりしたことを発表していた。また3年にも分かる例を挙げて、「おいしい水を生かして、楽しく過ごすためには、自然を守っていくことが大切である。」「水の無駄遣いに気をつけよう。」ということを発表していた。さらに、千代田町を流れている利根川の水は、東京都の人々の飲み水になっていることを知り、「水を通して他地域と結びついていること」を発表したグループもあった。これらのことは、中間発表会後の友達との振り返り活動が、新たな追究方法や活動のまとめ方や発表の仕方を知ることには生かされたと考えられる。交流カードには、60名の児童が、追究した事柄に対する賞賛や発表の仕方についてのアドバイスを

資料7 児童の振り返りカード(抜粋)

②今日の学習で、がんばったことは？

いろいろあがって来ておもしろくなって来た
ことではなかったのかな。

②今日の学習で、がんばったことは？

インターネットで調べた。

④次の活動までい（がんばりたいことは？）

もっと調べたい。

資料8 児童の交流カード

井戸水 >グループ

発表の仕方 ○() ○() △()
まとめ方 ○() ○() △()

友達について、がんばっていたな、ここがよかったな、と思ったことを書いてみよう

調べ方がとてもいいなと思いました。

<おもしろい> 名前

わかしん

発表の仕方 ○() ○() △()
まとめ方 ○() ○() △()

友達について、がんばっていたな、ここがよかったな、と思ったことを書いてみよう

しらぬいことがいばい書いてきたよ、おもしろい。

<おもしろい> 名前

つかみず

発表の仕方 ○() ○() △()
まとめ方 ○() ○() △()

友達について、がんばっていたな、ここがよかったな、と思ったことを書いてみよう

でかい声もててたし発表のしかたもとてもよかったです。

<おもしろい> 名前

記述していた(資料8)。

M子は、発表には加わっていなかったが、中間発表会後から「おいしい水」について、がんばって調べてきたことに対する賞賛や励ましにつながる記述の多いカードをもらうことができた。M子の交流カード交換後の振り返りカードには、自分のがんばりが認められた喜びや感謝を素直に表していた(資料9)。しかし、グループの友達が一生懸命発表していたのに、の評価があったことから、「まとめることもがんばって、発表会も一生懸命やる。」という意欲を示した。これも交流活動が生かされた結果と考える。M子が自分の気持ちを表に出したことは自分なりに、「水と友だち」の活動をがんばってきた自信の表れと考える。

(3) 調べてわかったことや考えたことを意欲的にまとめることができたか。(見通し3)

ア 実践の概要

学習カードや振り返りカード・交流カードをもとに、これまで調べたことや新しい町創りへの思いを整理しまとめた。模造紙にまとめたり紙をつなぎ合わせて本のようにしたりしていた。発表会で児童は、課題についてわかったことや考えたこと、そして、水を生かした新しい町創りへの思いをも発表し合った。家の人や地域の方も参観してくださり、児童の活動に関する感想やコメントを頂くことができた。

イ 結果と考察

発表会(交流活動)に向けて、これまでの自分たちの学習カードの記述や交流カードをグループで確認し合い、学習を振り返りながら、「水と友だち発表会」の準備に取りかかった。まとめていく中で不十分だった点を調べなおし、模造紙にまとめたり、内容はもちろん、相手によく伝わる発表の仕方等を考えながら準備をしていったりした。これは、交流カードの記述内容が、児童の中に「友達にわかりやすく伝えたい」という意欲を持たせることに効果的であったと考える。発表会では、どのグループも家の人や地域の方を前に緊張しながらも、交流カードでアドバイスされた「大きな声で、わかりやすく。」を意識した発表を行うことができた。

模造紙の分担で、M子は、「おいしい水とは」を書くことになったが、自分の担当箇所を休み時間を惜しんで大切なことは何かを考えながら一生懸命模造紙に表していた。これは、自分自身を振り返りながら「調べるだけではいけない。追究した結果をまとめることまでがんばろう。」というM子の成長と活動に取り組む意欲の表れと考える。

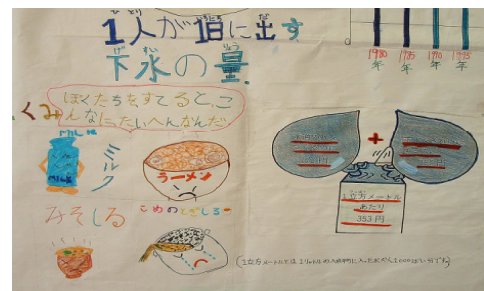
「水と友だち発表会」でM子は、自分が担当した「おいしい水」について、友達にもアドバイスした声の大きさに気をつけて、わかったことや考えたこと、思いを友達に伝えていた。また、「水を生かした新しい町創り」は、自然に目を向けた「川がきれいで、もっと

資料9 カード交換後のM子の感想

○発表会で、ほかのグループの人からの考えやかんそうを聞いて(カードを見て)、あなたはどう思いましたか。

うれしいし、ちゃんと読めるとか、がんばるとか
よいところがたくさんありすぎたとか、発表の
仕方がおもしろいと、いろいろあった。
一番うれしかったのは、すごい調べ方と書いてあったこと
ありがとうね!

資料10 児童がまとめたもの



資料11 M子の考える新しい町

どんな町にしたい?

川がきれいで、魚もいっぱいいる千代田町。緑がいっぱいある千代田町の水が、つめたくて、おいしい千代田町にしたい。

その理由は?

川がきれいなほうが、魚が、いっぱいあつまるから、緑が多いほうが、きれいな川の水が、つめたくて、おいしく、お水を、すごくおいしくなるから。

水のおいしい町」と思っている（資料 11）。川とは千代田町を流れる利根川のことで、「自然のために川（友達である水）をもっと大切にしなければならない。千代田町をもっと緑の多い町にしたい。」と言っている。このことから、追究する過程の最終段階で友達の自然に触れた発表内容が、交流を含めた振り返り活動を通して自分を冷静に振り返り、自分なりの願いや思いを自分の中につくり出したM子の成長がうかがえる。

「水と友だち発表会」後の家の人や地域の方からの感想は、「課題について、いろいろ調べてあって、発表も立派だった。」「知らなかったこともあった。」と児童のがんばりを賞賛するものばかりであった。児童にこのことを伝えたところ、「いろいろな調べ方や水のことのわかり、がんばってきてよかった。嬉しい。」という満足感や喜びを表していた。

以上のことから、活動過程に振り返り活動を取り入れたことで、自分の活動の確認・修正ができたり、友達のアドバイスからいろいろな調べ方を知ることができた。また、振り返り活動が交流活動以後の課題追究に、意欲を持ち続け高めながら、活動に取り組む児童の育成に役立ったといえる（図 1）。

研究のまとめと今後の課題

1 研究のまとめ

自分自身の振り返り活動や 4 回の友達との振り返り活動（交流活動）により、友達からの励ましやアドバイスから自分の活動のよい点や不十分な点に気づいて、自分の活動の確認や修正を行うことができた。また、友達からの励ましやアドバイスは、多様な情報収集の仕方を知り、意欲を高めていくのに有効であった。さらに、自分が、カードを通して友達に感想や考えを伝えたことは、自分自身の意欲を高めていくのにも役立った。

2 今後の課題

振り返り活動により、児童の中に、課題を追究していこうという意欲を高めながら取り組む姿勢は向上してきた。しかし、振り返り活動を生かせず、見通しが持てないで、意欲の高まりが少なかった、見られなかった児童もいた。また、まとめる時に、わかりやすくするための工夫を考えられない児童もいた。このような児童に対するおいしい水とは」について、友達にもアドバイスした振り返り活動の生かし方、きめ細かな支援の方法を探っていくことが今後の課題であると考えられる。

<参考文献>

- ・高浦 勝義 著 『問題解決評価』 明治図書（2002）
- ・教職研修 9月増刊 No 3 『調べ学習・まとめ・発表の指導テクニックとプラン』（2000）

【進んで学習できた】

追究開始 - 中間発表前	36%	42%	28%	
中間発表後 - まとめる前	55%		43%	2%
まとめる - 広げる過程	66%		32%	2%

【最後までがんばった】

追究開始 - 中間発表前	44%	35%	21%	
中間発表後 - まとめる前	53%		42%	5%
まとめる - 広げる過程	55%		42%	3%

図1 相互評価後の取組の変化(平均)

(振り返りカード3回、児童の取組の変化)

注: =十分がんばった、 =がんばった、 =もう一歩